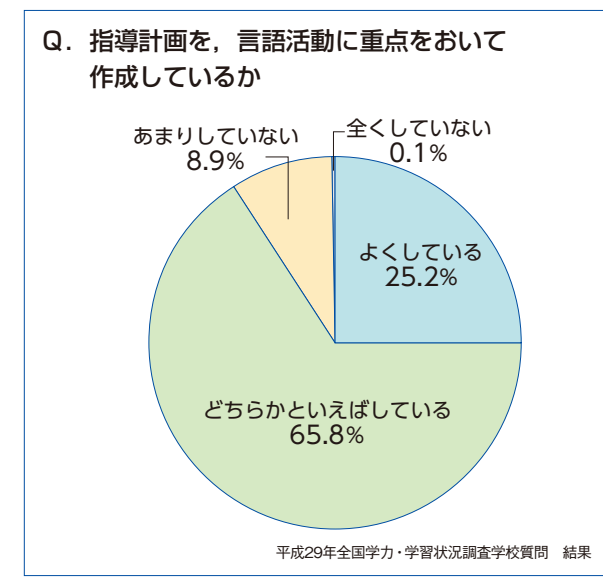


「資料集」を活用して 新しい学習指導要領が求める学びを 国語科編へ

2021年度完全実施の新しい学習指導要領の国語科においては、言語活動を通じた言語能力の育成がますます重視され、**語彙指導、情報の扱い方に関する指導、我が国の言語文化に関する指導、読書に関する指導**についての改善と充実などが求められている。

新しい学習指導要領で求められる国語の授業を、先生方はどのように実施されるのか、言語活動を取り入れた授業づくりにはどのようなものがあるのかについて、今回は特に、資料集を活用した実践例を中心に、公開されている調査結果や弊社で行った学校調査の結果とともにまとめる。



① 国語の資料集の活用場面

- 活用場面 TOP3
1. 古典
 2. 言語事項
 3. 表現

※これらの次によく使われているのは、「詩歌」と「戦争」でした。(2017年 弊社調査)



1. 古典
 - 作品そのものへの理解を深める際に使う。(東京)
 - 季節感・時間、太陽暦・太陰暦など、古典の世界の基礎知識については、教科書にまとまった記載がないため、資料集で補う。(石川)
 - 歴史的仮名遣いの説明のときに資料集を使う。(愛知)
 - 教科書に現代語訳が載っていない古文については、資料集の現代語訳を活用する。(奈良)
 - 教科書に載っている古文と現代語訳を見比べ、訳し方の違いを考えさせている。(石川)
 - 古典全般で使っている。たとえば、「平家物語」だと、鑑の説明をするときなど。(三重)
 - 入試対策として、資料集の古文を読ませる。(茨城)

② 言語事項

- 言語の単元は、資料集をテスト範囲に入れて、学習させている。(三重)
 - 長期休暇の課題として、資料集の言語ページを出す。(山形)
 - 書く指導の際に、語彙を補充するために言語のページを使う。(栃木)
 - 入試対策として、言語のページを使っている。(大阪)
3. 表現
 - 「原稿用紙の使い方」について、特に1年生のときは、資料集を見せながら、資料集記載のルール通りに書かせるようにしている。生徒が安心して書けるので、指導がしやすい。(埼玉)
 - 鑑賞文の書き方などを指導する際に使っている。(岡山)
 - 職場体験のときに「手紙の書き方」のページを参考にしながら書かせている。(山形)
 - 話し合い活動の前に、手順を確認するのに使っている。(石川)

このほかに、「詩歌の創作」「詩歌の表現技法の確認」「戦争の教材で時代背景をイメージさせる」などの使い方が多くみられました。



② 資料集を使った、新しい学習指導要領が求める学びの実践例

俳句の創作

資料集の季語のページで使いたい季語を選び、各自で俳句を創作する。俳句の基礎知識や表現技法のまとめ、作り方のページも参照するように指導する。

書く力アップ

鑑賞などの「文章の書き方」を資料集でまず確認する。書いたあとも、資料集の「原稿用紙の書き方」「表現技法のまとめ」のページを参照し推敲の時間を取る。

「竹取物語」と「かぐや姫」の比較

「竹取物語」と「かぐや姫」について、共通点と相違点を意識しながら比べ、時代背景や古文の内容について、資料集などを使って調べる。各自で調べた内容をグループでまとめ、3～5分で発表する。

詩歌の調べ学習

教科書に解説の載っていない短歌の、作者・時代背景・歌の内容・表現技法などについて、資料集を使ってグループで調べ学習を行う。調べた内容はグループごとに発表する。



和歌の特徴を考える

「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌について、それぞれにどのような特徴があるかを考えて分類する。分類ができれば、歌集ごとにどのような分類の特徴がみられるかを検討し、資料集に載っている三大和歌集の比較表と見比べて理解を深める。

オリジナル「枕草子」作り

資料集に載っている「ものづくし」の章段の例を読んで「ものづくし」を理解し、各自でオリジナルの「ものづくし」を創作する。画用紙に清書し、イラストや写真を添えて完成。

語彙指導

故事成語で4コマ漫画作り

資料集に載っている故事成語の中から一つ選び、故事成語の意味が伝わるような起承転結のある4コマ漫画を考えて書く。完成したらグループで読み合っ、感想を交流する。



語彙力アップ

資料集に載っていることわざや故事成語の中から座右の銘にしたい気に入った言葉の一つを選び、短冊に記入。一人ずつ理由とともに発表する。



読書指導

本のポップ作り

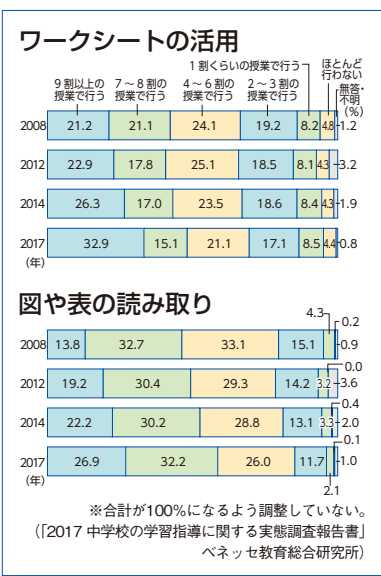
資料集に載っている作品などから紹介したい作品の一つを選び、ポップを作成する。資料集には、本の紹介に役立つ情報(ポップの作り方、本の帯の作り方など)が載っているので、それも参考にする。

資料集でさらに進化！ 「主体的・対話的で深い学び」に向けて、社会科編

2021年度完全実施の新しい指導要領に盛り込まれている、「主体的・対話的で深い学び」や、育成を目指す資質・能力の3つの柱のうちの「思考力、判断力、表現力等」に関連して、社会科では、資料を活用する能力がさらに重視されている。学習の過程で、課題を見出したり、考えを深めたりするための論拠として、これまでに以上に「資料」の必要性が高まっている。

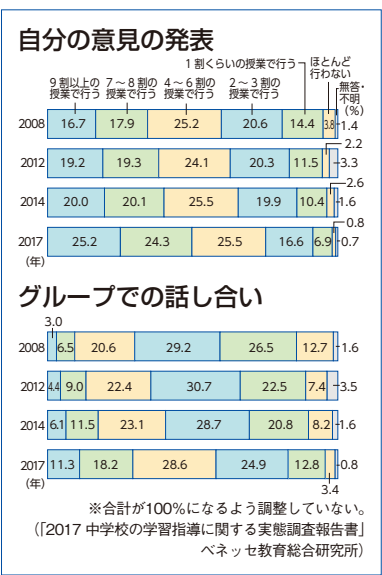
それを受けて、社会科の先生方が、授業の中で資料集をどのように活用されているのか、特に「主体的・対話的で深い学び」に向けた取り組みを中心に、公開されている調査結果や弊社で行った学校調査の結果をまとめる。

社会科の授業に取り入れる頻度が 高まっている学習活動



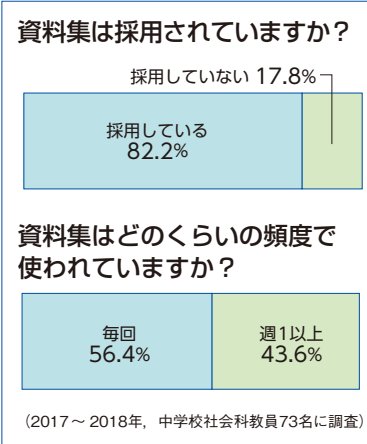
社会科の授業における「図や表の読み取り」活動は、99%の先生が導入し、約60%の先生が、7割以上の授業で取り入れている。

社会科以外も含めた学校全体での取り組みとしては、「生徒どうしで話し合いながら進めていく」授業の導入率が92.9%、「考えたり調べたりしたことを工夫して発表する」授業の導入率が93.6%となっている(2017年)。



資料集の採択・活用状況

近年授業への導入が特に増えている「図や表の読み取り」活動や「話し合い」等の活動に関連して、資料集の採択・活用状況について、独自に学校調査を実施した(2017年~2018年)。以下はその結果をまとめたものである。



② 資料集をよく使用する授業の場面

地理

教科書にない統計資料を使って比較させるために使うと声があった。諸地域学習の最初に地形を把握させるのに資料集を使用する、授業の導入で生徒の興味をひきやすい資料や写真を提示しているという声も。資料集に組み込まれている作業要素を使っているかどうかは、意見が二分。

歴史

□頭説明や教科書の文章ではわかりにくい内容の図解や、地図化した資料、年表などを、授業中の解説・説明の際に、理解促進のための補助資料として使用。教科書の年表だと内容が粗いので、資料集の年表で

できごとを整理させる、各時代の文化の写真は教科書よりも豊富なので、特によく使用するなどの声も。また、使える資料に限られる古代よりも、さまざまなお観点の資料がある近現代のほうがよく使うとの意見もあった。その他、修学旅行前の学習でも使うとの意見も。

公民

授業中の解説時の補助資料としての他、調べ学習にも使用。公民の授業は知識の解説だけでなく単調で理解しにくい材料から生徒にとって身近な例や最近の話題を必ず示すという声も。授業以外で、生徒会での取り組みの参考資料に使っているという意見も。

③ 「主体的・対話的で深い学び」や話し合い活動の実践

取り組み状況

調査を行った学校では、半数以上の先生方が話し合い活動を行っており、また、「主体的・対話的で深い学び」の実践についても、「行っている」か、または「今年度から行いたい」との回答であった。具体的なご意見は以下の通り。

〈実践に積極的な先生方のご意見〉

- ジグソー学習(1つの学習課題をいくつかのテーマに分け、生徒がそれぞれのテーマについて調べてグループを持ち寄り、共同して課題解決に取り組む学習法)を行っている。地理は単元の最初に調べ学習をやっている。(愛知)
- どんな内容でも話し合いをするという訳にはいかないが、毎回実施は難しいが、学期に1回のアクティブラーニング型の授業と、2~3時間に1回のグループでの話し合い活動は盛り込んでいる。(茨城)

- A1の授業では、資料を提示して読み取れることを言語化させる。それを班で共有して、説明する力や資料を深く読み取る力をつけさせたい。いきなり複数の資料を読み取るのは難しいので、まずは1つの資料の読み取りから始めればよい。A1的な授業は多くて学期に1回程度だろう。(愛知)
- 小さな話し合い活動は毎回実施。月に3回くらいはアクティブラーニングを取り入れている。(滋賀)
- クラスで1冊の「新聞ノート」を作成し、それを使って毎時間小対話を行っている。その日の当番の生徒が前日までに「新聞ノート」に新聞記事の切り抜きを貼り、記事の要約と自分の考えを記載。授業の冒頭5分程度で当番の生徒が発表し、生徒同士で質問をし合う。できるだけ、そこで出た話題から授業に入るようにしている。(東京)
- 授業の展開部で、「なぜ」で始まる問いを出し、まずは個人で考えさせ、次にグループで共有させ、全体でまとめと解説をしている。この問いについては、必ず定期テストでも出す。授業と定期テストを有機的につなげ、授業に真剣に参加していたら、問題が解けるようにしている。(東京)
- 地理資料集の図版を投影して、まず解説。生徒にはメモを取らせる→メモをグループで整理し、発表させて、その際に資料集を読ませる→最後に先生がまとめる。(大阪)
- 歴史資料集に掲載されている資料や文章の読み取りを5~15分行っている。ホワイトボードにグループで考えたことを書かせる。(愛知)
- 話し合いの時の資料を歴史資料集から引用している。教科書のみでは足りない。(愛知)
- 公民で、自分たちの市が抱える課題を解決する、というテーマでアクティブラーニングの授業を行った。(三重)

- 3年2学期のパフォーマンス課題として、公民で「アジアに工場を作るならどの国がよいか」というテーマで授業をできないか考えているところ。何の工場にするかによっても判断が異なってくる。資料集めに時間がかかるので、資料集にそのような授業ができる資料を集めた特集ページや、授業に使えるワークシートがあるとよい。東書の教科書の「コンビニの経営者になってみよう」は、とてもよい題材だと思うので、そのような題材があると助かる。歴史は難しいかもしれないが、地理・公民の資料集には入れてほしい。(広島)
- 全く考えていない。知識がないと、何も始められないと考えている。(山形)
- 個々の力があってこそそのA1なので、社会科が苦手な子や話し合い活動が苦手な子へのフォローが課題である。(三重)
- 実施したいが、時間がない。どうしても3年生は入試優先になる。「授業中に全て覚えなさい」という気持ちで授業をやっている。(三重)
- やらなくてはならないと考えているが、やり方がよくわからない。(大阪)
- 教科書や資料集の資料から子どもたちに考えさせるような授業として、アクティブラーニングを行っているが、歴史では取り組み頻度が低い状況。歴史はなかなか難しい。(三重)
- 歴史はやりにくい。(三重)



主体的・対話的で深い学びに向けた実践をされている先生にお聞きしました！

1 主体的・対話的で深い学びの実践について、具体的な単元で、どのようにされていますか。

地理的分野では、地理的事象やその背景を、なるべく地図帳から探させるようにしています。ほとんどの答えは地図帳から読み取れるといっても過言ではありません。地図から自ら読み取ったことを意味付け解釈し、結び付けて説明できるような授業を意識しています。また、過去にはアジア州を州内の地域別に区分し班に割り当て、生徒自らが授業者となる生徒授業の形で授業を行いました。

公民的分野では、財政の配分の在り方や、人権と人権が対立する場面など、複数の意見が対立しているものについて議論する場面を取り入れることを意識しています。また、模擬選挙を取り入れ、選挙の仕組みや候補者が選ばれた後の流れを体験的に学ばせています。

対話型の授業を実践される時、教科書や地図帳以外の教材を使われますか。使われる場合、どのような資料をどのような場面でも使いますか。

資料集などに掲載されている資料を、自分の考えの根拠として使用させることはよくあります。また、人口や財政などについて、統計や白書などから具体的な地域の最新データをもってきて生徒に提示することもあります。また、生徒が作成したレポートを発表したり相互評価し合ったりするような授業では、生徒の

主体的・対話的で深い学びに向けた実践をされている先生にお聞きしました！

2 主体的・対話的で深い学びの実践について、具体的な単元で、どのようにされていますか。

例えば、先日行った2年生歴史の授業では、近世の「幕府政治の展開」の単元で、幕政の改革に関わった6名の人物について、6人×6グループによるジグソー学習を行いました。導入に1時間、グループでの調べ学習とジグソー学習用の説明原稿・レジュメ・要点をまとめた配付資料の作成に3時間、ジグソー学習に1時間、まとめに1時間の構成。最後のまとめの時間では、6名の幕政改革についてみんなで調べた内容を踏まえて、ワークシート上で6名の人物をリーダーチャートで評価させ、一番優れた政治家を選ばせました。「選挙」を意識して活動に加えたのですが、意識的に、歴史の授業に歴史を学ぶ意義や公民とのつながりの要素を組み込んでいます。

例に挙げた授業では、教科書・資料集を土台にしながら、司書教諭に依頼し、事前に調べる対象の人物について載っている書籍を集めてもらいました。調べ学習のうち、最初の1時間は、教科書・資料集・書籍からのみ調べさせ、次の時間以降にインターネットを使わせました。

作品が教材となることもあります。生徒同士で作品を見せ合う場面では、互いに興味深く内容を読んでいる姿が見られます。

対話型の授業を実践される時、

a) 生徒の興味付けや、生徒に「自分で」として主体的に課題をとらえさせるために、工夫をされていることはありますか。その際、「資料」の提示や配付をされているのであれば、具体的などのような資料を使われていますか。

生徒が自分のもつ知識や言葉で「語れる」ことが対話を生み出す基本だと考えます。まずは教師が分かりやすい言葉で説明したり、問いを投げかけたり、自分自身に関係があると思えるような資料を見せたりすることが大切ではないでしょうか。また、一斉授業の中でも小さな問いの積み重ねで授業を作っていくことで、双方の授業ができると思います。また、生徒同士の対話型の活動では、教師による、生徒同士の対話を批判的に揺さぶるような問いや資料の提示が必要ではないかと思っています。

b) 活発な話し合いができるように、工夫されていることはありますか。また、学びの深まりのために工夫されていることはありますか。

先ほどと重なりますが、教師が生徒の思考を揺さぶるため、根拠を確認するよつな質問を行ったり、他の生徒の考えを紹介し、新たな側面に気付かせたりする工夫が必要だと思っています。また、最近では、「ロイノート」というソフトを使って、タブレット上で相互の意見を比較したりすることも取り入れ始めました。使い慣れてくると、とても簡単に比較や結び付けの作業ができるようになり、生徒の意見を集めることも簡単にできます。

特にレジュメの作成には、資料集をよく使います。教科書よりも詳しい資料やまとめ図があり、教科書とは違う視点の異説などが生徒の参考になっているようです。

対話型の授業を実践される時、

a) 生徒の興味付けや、生徒に「自分で」として主体的に課題をとらえさせるために、工夫をされていることはありますか。その際、「資料」の提示や配付をされているのであれば、具体的などのような資料を使われていますか。

歴史学習の授業開きでは、必ず歴史学習の意義を書かせるようにしています。歴史を学ぶことで、未来を予測する土台が作られ、未来をよりよくできることに気付かせたいと考えています。

生徒の主体性を引き出すという点では、できるだけ学習内容そのものに興味を持ってもらえような前振り的心がけています。例えば、「市民革命が起こるとき共通点は？」と疑問を投げかけ、「その共通点から、これから革命が起こる国が予測できるかも？」と伝えるなどです。

b) 活発な話し合いができるように、工夫されていることはありますか。また、学びの深まりのために工夫されていることはありますか。

話し合いの活性化に向けて、対話型の学習に「ゲーム性」をもたせることもあります。例えば、明治の諸改革について、6つの改革についてグループごとに調べさせ、どのグループが調べた改革が最も「日本の近代化」に強い影響を与えたか議論させました。自分たちのグループで調べている改革がより強い影響を与えたと証明できるように、生徒たちは一生懸命論拠を探していました。

主体的・対話的で深い学びについて、評価はどのようにされていますか。(授業中・定期テスト・ポートフォリオなど)

毎時間、すべての活動を評価することは難しく、私も研究途上ですが、あらかじめ教師が設定したルーブリックなどの規準に照らして小レポートなどの評価資料を分析することや、生徒同士の相互評価を参考にして評価することが多いです。また、ノートに自分の考えを書かせるなどさせて、身近なポートフォリオとして活用しています。

その他、資料集の活用場面や活用の工夫、アドバイスがあれば、ご教示ください。

教科書に対応した見開きを使うことが多いと思いますが、意外と他のページに関連した資料が掲載されていることもあります。日頃から教師自身が意識して資料集を見ておくことが必要だと思っています。

取材協力：お茶の水女子大学附属中学校 渡邊智紀先生



対話型・活動型の授業には、「まとめ」「振り返り」が不可欠だと考えます。冒頭で例に挙げた授業では、最後に、幕政改革を扱ったマンガのセリフを穴埋めさせる作業をさせたのですが、この作業をグループで作成した「レジュメ」をもとにやらせることで、自分たちの作業が「みんなの役に立っている」という達成感を生徒が得られるようにしました。

学びが深まったかどうかは、いかに「見方・考え方を働かせていたか」と関連すると考えます。例の授業では幕政改革に関わる人物を評価させるうえで、社会的な背景を視点に加えて因果関係を意識させたり、人物同士の類似や差異を比較させたりするようにしました。

また、調べ学習も話し合い活動も、そして社会科の学習内容においても、いずれも3年間の系統を意識し、公民の学習につながるよう授業の組み立てをしています。

主体的・対話的で深い学びについて、評価はどのようにされていますか。(授業中・定期テスト・ポートフォリオなど)

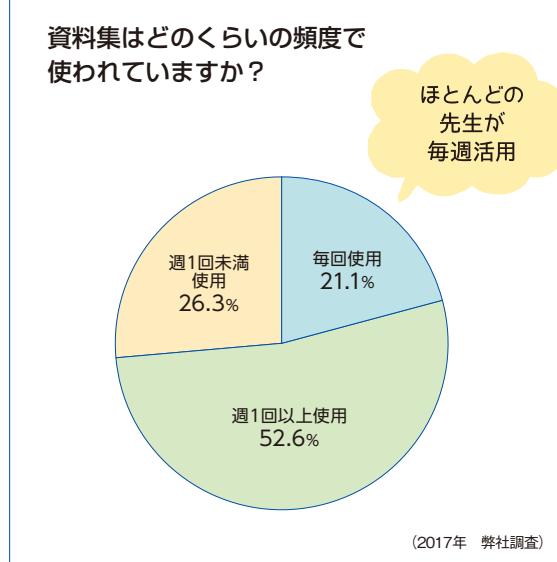
「知識・理解」は小テストや定期テストで、「技能」はレジュメや発表用原稿の作成やプレゼンの様子で、「思考・判断・表現」は、最後にまとめとして記述させるワークシートを中心に評価しています。ワークシートでは、学習内容が正確におさえられているか、意見の根拠が適切に表現できているかを重視します。また、授業内での生徒の様子を評価する場合は、必ず事前に授業内評価をすることを予告し、その時間が終わってから形成的評価として生徒にフィードバックをしています。

取材協力：東京都品川区立東葉の杜学園中学校 金城和秀先生

新学習指導要領で重視される「理科の学習と日常生活との関連」を資料集で強化！

2021年度に完全実施となる新しい学習指導要領では、理科を学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を深める観点から、理科の学習内容を日常生活や実社会と関連づけることが重視されている。その実現には日常生活や実社会との対応事例をできるだけ多く生徒に伝えることが求められる。その一つの手段として、資料集を活用した授業を行うことが有効と考えられる。今後の授業改善に向けた資料集活用のヒントとして、2017年に弊社で実施した資料集の使用実態調査から使用事例を紹介する。

① 資料集の使用頻度



② 資料集の使用目的と使用場面

資料集を使う目的は何ですか？

- 教科書の補足
- 生徒の興味付け

ほとんどの先生が上記の目的。

資料集はいつ使われますか？

- 前時の復習（授業の導入）
- 実験装置の確認（授業の導入）
- 単元のまとめ

という意見が多数。

資料集の図や写真は、教科書より詳しくかつ大きかったりするので、理解が深まります。

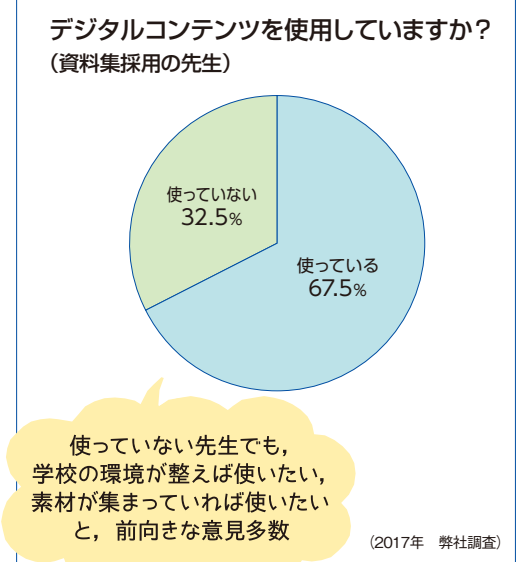
発展的な内容で教科書の扱いが小さいものが、資料集では詳しく扱われていたりするので、生徒に説明しやすいです。

先生に聞いた！ 資料集でよく使う単元は？

- 植物…身近な植物の一覧（図鑑的）、いろいろな植物の例、極端な植物（サボテン）など。
- 火山…日本国外の火山（キラウエア、マウナロアなど）、噴火の写真など。
- 地震…地震波の伝わり方、プレートのようなすなど。被害写真などは扱いに気を遣う。
- 動物…内臓のつくり、いろいろな動物の例など。
- 天気…空や雲のようす、天気図、衛星からの雲画像など。
- 遺伝…遺伝子の顕微鏡写真、遺伝の例など。

8割程度の先生が2分野を中心に使用されています！

③ デジタルコンテンツの使用率・使用方法



- 具体的な使用方法や効果は？**
- 実物を用意するのは難しいが、変化を動画で見た方が分かりやすい内容（植物の成長、火山、天気、天体など）について使用する。
 - 実験方法を実験前に見せて参考にさせたり、うまくいかなかった実験のまとめとして見せることもある。
 - 危険な物質を使用する実験の動画を見せる。
 - 動画を見せると生徒の顔が前を向き、説明が1回で済む。
- 苦労する点は？**
- 素材を集めるのが大変。
 - 電子黒板が学年に4台しかないため、空いている時しか使えない。
 - デジタル教科書の入ったPCが学校全体で6台。1学年8クラスなので、毎時間使いたくても占有は厳しい。社会、英語、理科で取り合いになる。

年度	都道府県	題材
H29年	島根	【花粉症】 スギの木から離れたところにもスギの花粉症を発症する理由 (→スギの花粉は風に乗って運ばれるから)
H28年 H30年	兵庫 香川	【食物中の消化酵素】 タンパク質を主成分とするゼリーに大根おろしとパイナップルのしぼり汁をかけた際、どちらもゼリーがとけたことから、大根おろしとパイナップルが消化を助ける食物の種類を推測 (→どちらも肉の消化を助ける)
H29年	大分	【飛行機の往復の時間差】 低気圧の移動の原因と共通する、東京-大分間を往復する飛行機の、行きと帰りでかかる時間が異なる原因 (→偏西風の影響)
H30年	山形	【ガスもれ警報機の設置場所】 都市ガス用のガスもれ警報器を部屋の高い場所に設置する理由 (→都市ガスは空気より密度が小さいから)
H28年	福井	【吸盤にはたらく大気圧】 吸盤にはたらく大気圧の向き (→吸盤の外側からあらゆる向きにはたらく)

クローズアップ入試問題

新学習指導要領でも重視されている日常生活や社会との関連は、入試問題でも活用問題として出題され、近年増加傾向にある。どのような題材が出題されているか、特徴的な問題をいくつか紹介する。

観察記録 4. 3月1日 15時 晴れ

学校の周辺にはスギの木があります。スギの枝先に黄色い粒状の実のようものがついていたので調べると、スギの花であることがわかりました。枝をゆらしてみると花粉がたくさん出てきました。最近同じクラスの②ハヤトさんが教室で何回もくしゃみをしているので、スギ花粉症かもしれません。

4. 下線部②のように、スギの木から離れた教室にいてもスギの花粉症を発症する人がいる。ところが、サクラの花粉症はほとんどの場合、サクラの木に近づかなければ発症しない。このことを参考に、スギ花粉の運ばれ方について、簡単に説明しなさい。

